

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3406 初等教育方法(情報通信技術の活用含む) [2]			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜2限				
教室	H402教室				
代表教員	薄田 太一				
担当教員	薄田 太一、稲葉 浩一				
テーマと到達目標	子どもの発達段階を踏まえながら、初等教育および幼児教育の方法と学習評価について理解し、指導技術を身につける。教育現場におけるICT（情報通信技術）の活用についての基礎的な知識を身につけ、ICTを活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を目指した教材の作成・活用に関する能力を身につける。				
概要	教育が組織的に行われるにつれて、教育方法の考え方や開発がなされてきたことを理解し、今日では指導についての内容や方法、評価のシステムが確立されていることを把握する。 教育現場におけるICT（情報通信技術）の活用について、その歴史的経緯、現状、今後の方向性を理解する。授業における児童生徒および教員によるICT活用、授業の準備や学習評価に関する活用、教育データの活用を取り上げる。また、情報活用能力の構成要素および具体的な指導法、教育課程上の位置づけについて解説する。 授業方法は、資料による基礎的理論の修得と学習指導案の作成および情報機器の操作など、実践的な活動を取り入れる。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション			薄田・稲葉	対面授業
第2回	教育方法の開発の歩み(世界における教育方法の歴史および現状)			薄田	対面授業
第3回	教育方法の開発の歩み(日本における教育方法の歴史および現状)			薄田	対面授業
第4回	教育方法を構成するもの(教育的指導の目標・内容・方法の区別と関連)			薄田	対面授業
第5回	カリキュラムと単元の構成(その意味と作成方法)			薄田	対面授業
第6回	教科外指導のねらいと方法(道徳教育、生活指導、総合的な学習の時間)			薄田	対面授業
第7回	教育評価のしくみと方法(ICTの活用を含む)			薄田・稲葉	対面授業
第8回	情報リテラシー教育の概要と実践			稲葉	対面授業
第9回	教材の活用(教科書・副読本・資料集等の活用・学習環境の構成と指導の工夫)			稲葉	対面授業
第10回	教材の活用(板書の工夫・資料教材の作成・環境構成の方法・ふりかえりシートの作成)			稲葉	対面授業
第11回	情報機器および教材を活かした教育実践(情報の検索・レポートの作成等)			稲葉	対面授業
第12回	情報機器および教材を活かした教育実践(グループ活動での活用、プログラミング等)			稲葉	対面授業
第13回	授業計画と指導方法(授業のデザイン・学習指導案の作成)			薄田・稲葉	対面授業
第14回	授業計画と指導方法(学習指導案を発表し相互評価し合う)			薄田・稲葉	対面授業
第15回	まとめ(教育方法を開発し教師としての力を高めていくために)			薄田・稲葉	対面授業
成績評価の基準	各授業での課題・指導案および模擬授業・学期末のレポート課題による総合的判断とする。				
履修にあたっての留意事項	初回授業時に本授業の履修及びスケジュールについてのガイダンスを行う。授業内容に応じて、レポートや課題等を課すことがある。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	特になし		
教科書	文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』『幼稚園教育要領』（取得免許に該当するものを準備すること）	教科書(ISBN)	
参考文献	授業中に適宜指示する。	参考文献(ISBN)	